

企業景況調査報告書

(平成28年4～6月期)

< 目次 >

調査の概要・結果概要	・・・・・・・・・・	1
質問2（直面している経営上の問題点）	・・・・・・・・・・	2
質問3（一時金支給について）	・・・・・・・・・・	3～4
質問4（意見等自由記載欄）	・・・・・・・・・・	5
DI集計結果・分布	・・・・・・・・・・	6～8
調査票様式	・・・・・・・・・・	9

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成28年4～6月）

調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社

（建設業23社、製造業19社、卸売業11社、小売業21社、サービス業20社、その他6社）

調査方法

各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

調査時期

平成28年6月下旬～平成28年7月上旬

回収状況

86社（回収率86%） ※前回（1～3月）70社

<今期の状況>

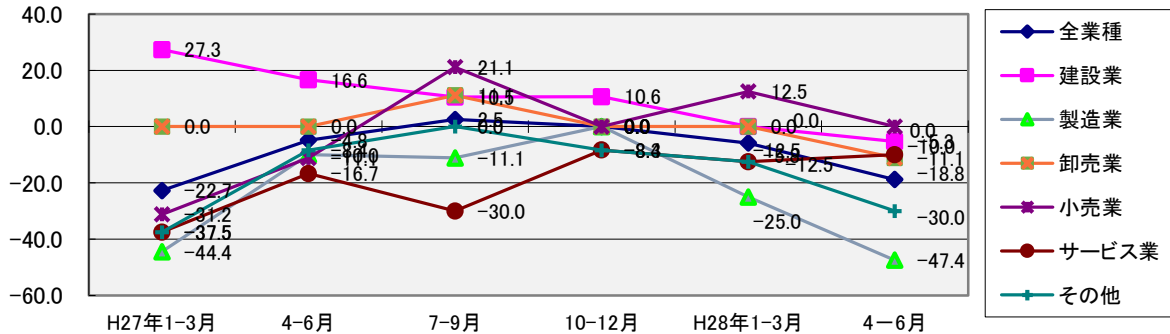
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲5.8ポイントから13.0ポイント減少し、▲18.8ポイントとなった。業種別に見ると、上昇したのはサービス業のみで、▲12.5ポイントから2.5ポイント上昇し▲10.0ポイントであった。一方、建設業は0.0ポイントから5.3ポイント下降し▲5.3ポイント、卸売業は0.0ポイントから11.1ポイント下降し▲11.1ポイント、小売業は12.5ポイントから12.5ポイント下降し0.0ポイントであった。そして特に下降が目立ったのは製造業とその他で、製造業は▲25.0ポイントから22.4ポイント下降し▲47.4ポイント、その他は▲12.5ポイントから17.5ポイント下降し▲30.0ポイントであった。

<来期の見通し>

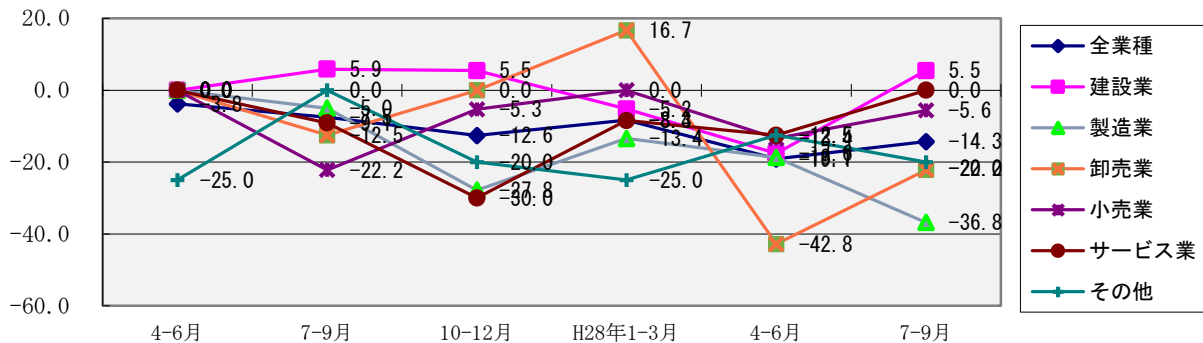
来期の見通し(平成28年7～9月)では、6業種中4業種で上昇傾向にあることから、全体の数値も▲14.3ポイントとなり、前期(▲19.1ポイント)より上昇の見通しとなっている。業種別に見ると、建設業が5.5ポイント(前期▲17.6ポイント)、小売業が▲5.6ポイント(前期▲13.4)、卸売業では▲22.2ポイント(前期▲42.8ポイント)、サービス業が0.0ポイント(前期▲12.5)と上昇した。一方、製造業では▲36.8ポイント(前期▲18.7ポイント)、その他では▲20.0ポイント(前期12.5ポイント)となっている。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	売上・受注減少(37)	消費・需要の停滞(33)	競争激化(32)
	前 期	売上・受注減少(31)	競争激化(30)	利益率低下(23)
建設業	当 期	競争激化(9) 売上・受注減少(9)	原材料・仕入価格上昇(6) 利益率低下(6)	経費の増加(5)
	前 期	経費の増加(8)	競争激化(6)、売上・受注単価低下(6) 原材料・仕入価格上昇(6)、利益率低下(6)	
製造業	当 期	売上・受注減少(11)	消費・需要の停滞(10)	競争激化(4) 店舗・生産設備不足・老朽化(4) 経費の増加(4) 利益率低下(4) 新分野進出(4)
	前 期	消費・需要の停滞(8)	売上・受注減少(7) 利益率低下(7)	競争激化(6)
卸売業	当 期	競争激化(4) 消費・需要の停滞(4) 売上・受注単価低下(4)	売上・受注減少(3) 利益率低下(3)	店舗・生産設備不足・老朽化(2) 経費の増加(2)
	前 期	競争激化(4) 売上・受注減少(4)	消費・需要の停滞(2)	売上・受注単価低下(2) 利益率低下(2)
小売業	当 期	消費・需要の停滞(10)	競争激化(8)	利益率低下(7)
	前 期	売上・受注減少(9)	競争激化(8)	消費・需要の停滞(6)
サービス業	当 期	売上・受注減少(5) 利益率低下(5)	人手不足(4)	消費・需要の停滞(2) 店舗・生産設備不足・老朽化(2) 経費の増加(2) 代金回収難(2)
	前 期	競争激化(4) 売上・受注減少(4) 利益率低下(4)	経費の増加(3)	消費・需要の停滞(2) 店舗・生産設備不足・老朽化(2) 人手不足(2)
その他	当 期	競争激化(4) 売上・受注減少(4)	消費・需要の停滞(3)	店舗・生産設備不足・老朽化(2)
	前 期	競争激化(2)、消費・需要の停滞(2)、売上・受注減少(2) 店舗・生産設備不足・老朽化(2)		

17. その他の課題

※倉庫不足（卸売業）

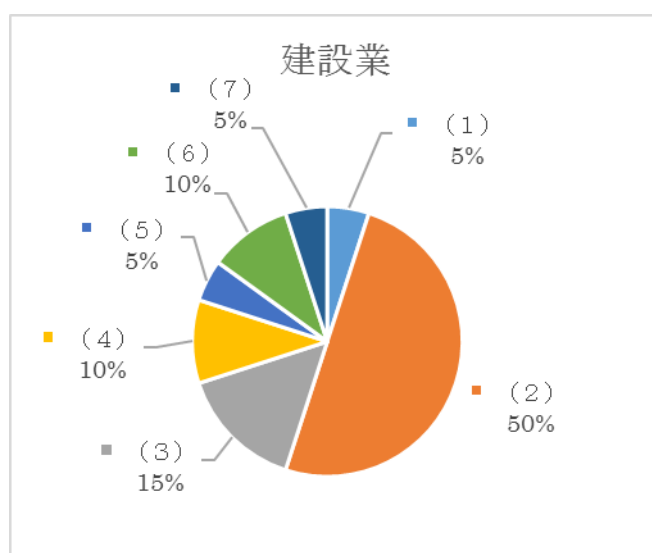
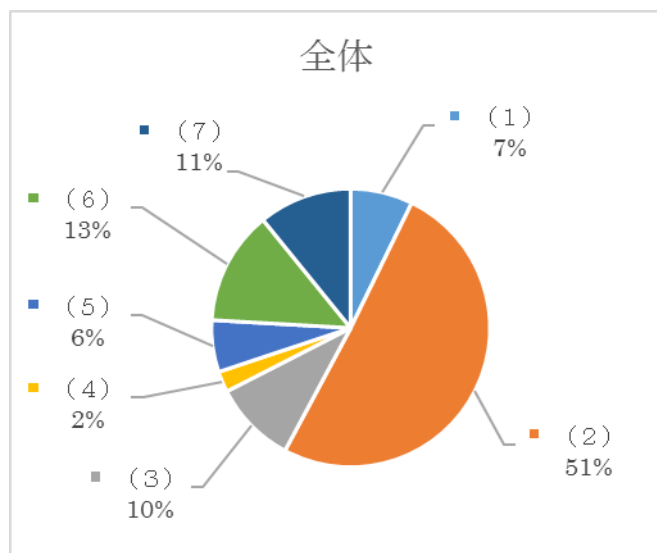
※利息（建設業）

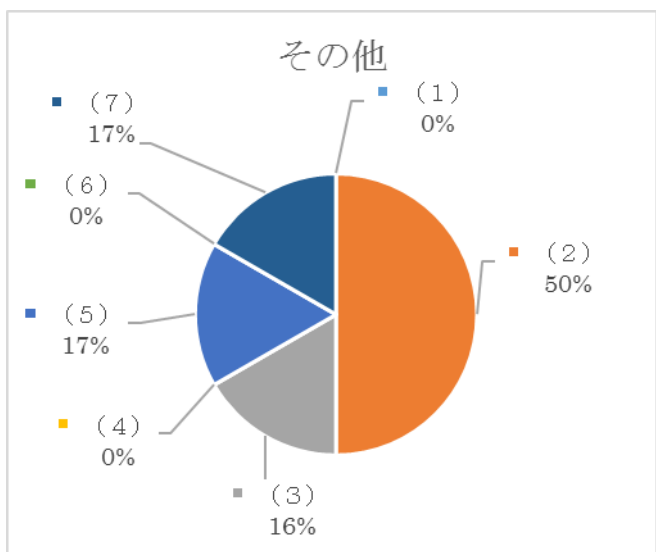
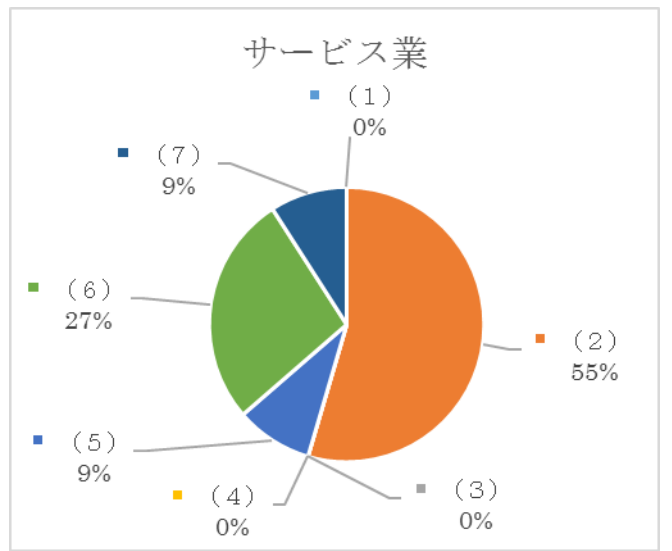
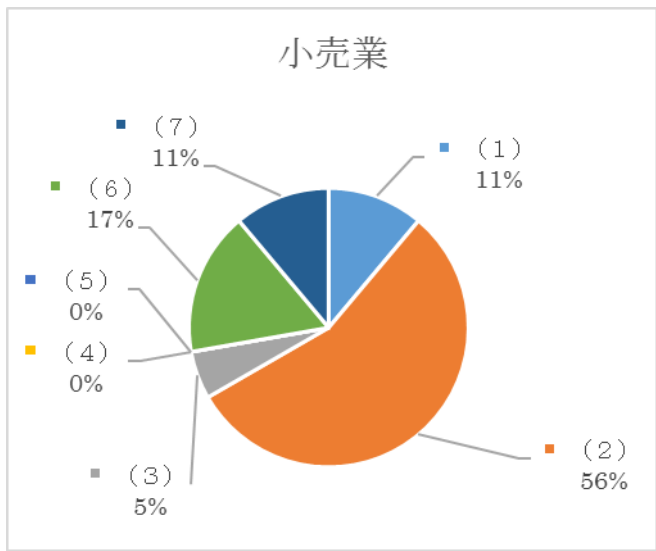
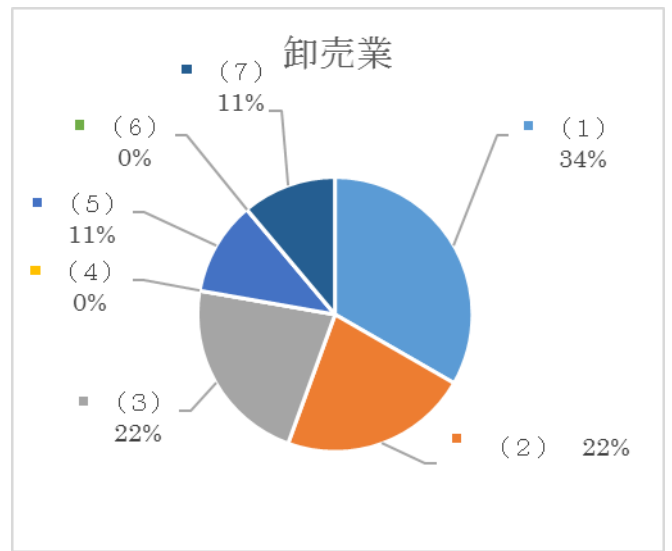
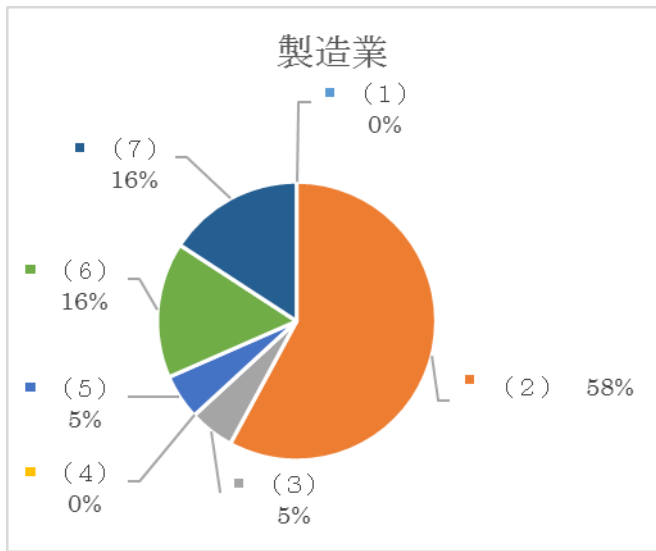
※若年技術者の不足（サービス業）

質問3 昨夏（平成27年夏）と比較して、貴社の正社員における今夏（平成28年夏）の一時金の動向について（該当する項目を選択）

- (1) 増額する (2) 同水準で支給する (3) 減額する
 (4) 昨年は支給しなかったが、今夏は支給する (5) 昨夏は支給したが、今夏は見送る
 (6) 昨夏に続き、今夏も見送る (7) 一時金を支給していない

	全体	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
(1) 増額する	6	1	0	3	2	0	0
(2) 同水準で支給する	42	10	11	2	10	6	3
(3) 減額する	8	3	1	2	1	0	1
(4) 昨夏は支給しなかったが、今夏は支給する	2	2	0	0	0	0	0
(5) 昨夏は支給したが、今夏は見送る	5	1	1	1	0	1	1
(6) 昨夏に続き、今夏も見送る	11	2	3	0	3	3	0
(7) 一時金を支給していない	9	1	3	1	2	1	1





質問4 現在の景況感、企業経営上の問題点等、消費税増税延期について(要望・意見等自由記入)

【建設業】

- ・受注は安定しているが、銀行への利息負担をもっと軽減できればと願います。
- ・消費税増税は延期するべきである。

【製造業】

- ・前回の消費税増税では、かなりの影響を受けたので延期には安堵している。次回の増税までに製品開発に力を入れ、新分野への進出を進めていきたい。
- ・売上高はほぼ前年並みですが、地産地消の力が景気の回復へとなればと思います。
- ・営業人員不足
- ・国内需要の低迷が業績悪化の大きな要因。消費税増税の延期は妥当な判断では

【卸売業】

- ・売上高が順調に伸びております。消費税増税延期が助かります。

【小売業】

- ・今年の3月、あまりに来店、売上が少なく時代の厳しさを感じました。これをふまえながら、色々と作戦を練り、盛り上げていきたい。
- ・まだ厳しいので、一層の知恵と企画力、営業力強化、勉強会強化に取り組み中。

【サービス業】

- ・消費税増税の延期は歓迎するが、店内と持ち帰り消費税がかわるなど、何を考えているのか？
- ・受注状況を見ながらではあるが、高齢労働者と若年労働者の切り替えをする必要があると思っている。
- ・今まで消費税増税では、消費が停滞して税収が下がっている。消費税増税は税収を落とすことが実証されているから、増税はすべきでない。むしろ消費税減税をすれば、景気が良くなり税収が上がると思っている。そして、地方の公共事業の予算を増やせば、都市部と地方の経済格差もなくなって良い結果になると思っている。
- ・例年町の人通りが少なくなっている印象。とくに夜は人通りが本当でない。
- ・人手不足による収入減（募集しても応募者がほぼない）但し、利益率には影響はない。
- ・景気回復は見受けられない。増税は消費低迷。軽減税率絶対反対。（伝票、レジ、コンピュータ）
- ・飲食店を利用する方は年配の方が多い。若い方はコンビニエンスストアを利用しているようです。

【その他】

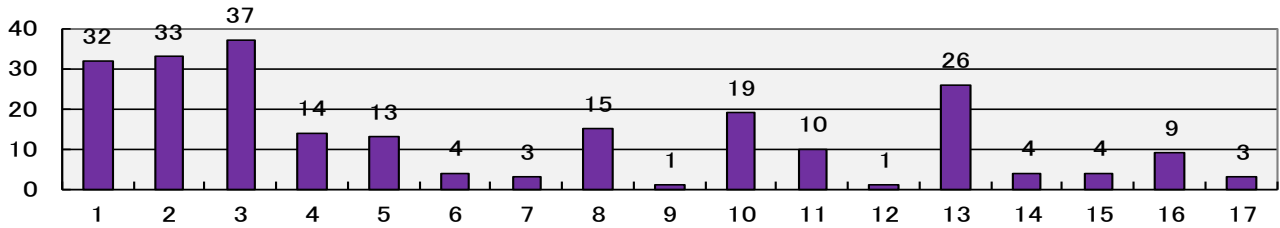
- ・消費の停滞、延期に伴う消費の停滞は解消されず引き続き停滞が見込まれる。

D I 集 計(前年同期比=H28年4~6月期、来期の見通し=H28年7~9月)						
【製造業・非製造業別】						
	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-26.5	-19.8	-8.8	-7.7	-21.6	-25.0
製造業	-42.1	-36.8	-10.5	-10.5	-47.4	-42.1
非製造業	-21.9	-14.5	-8.2	-6.7	-14.0	-19.6
	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-9.7	-7.4	14.8	13.9	-8.6	-8.6
製造業	-5.3	-5.3	11.1	11.1	-10.5	-5.3
非製造業	-10.9	-8.1	15.8	14.8	-8.0	-9.7
	7. 業況判断					
	前年同期比	来期の見通し				
全業種	-18.8	-14.3				
製造業	-47.4	-36.8				
非製造業	-9.8	-6.9				
【業種別】						
	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-26.5	-19.8	-8.8	-7.7	-21.6	-25.0
建設業	-15.8	0.0	11.1	11.7	-10.5	-11.7
製造業	-42.1	-36.8	-10.5	-10.5	-47.4	-42.1
卸売業	-22.3	-44.5	-33.3	-33.3	-11.1	-33.3
小売業	-15.8	-10.5	-5.3	-5.6	5.2	-22.2
サービス業	-27.3	-9.1	-10.0	0.0	-36.4	-18.2
その他	-50.0	-33.3	-40.0	-40.0	-50.0	-16.6
非製造業	-21.9	-14.5	-8.2	-6.7	-14.0	-19.6
	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-9.7	-7.4	14.8	13.9	-8.6	-8.6
建設業	-15.8	-11.8	10.6	11.7	0.0	5.5
製造業	-5.3	-5.3	11.1	11.1	-10.5	-5.3
卸売業	-33.3	-33.3	25.0	25.0	11.1	0.0
小売業	10.5	0.0	26.3	26.3	-21.0	-16.7
サービス業	-9.1	9.1	9.1	9.1	-27.3	-45.5
その他	-33.3	-16.7	0.0	-16.7	9.1	9.1
非製造業	-10.9	-8.1	15.8	14.8	-8.0	-9.7
	7. 業況判断					
	前年同期比	来期の見通し				
全業種	-18.8	-14.3				
建設業	-5.3	5.5				
製造業	-47.4	-36.8				
卸売業	-11.1	-22.2				
小売業	0.0	-5.6				
サービス業	-10.0	0.0				
その他	-30.0	-20.0				
非製造業	-9.8	-6.9				

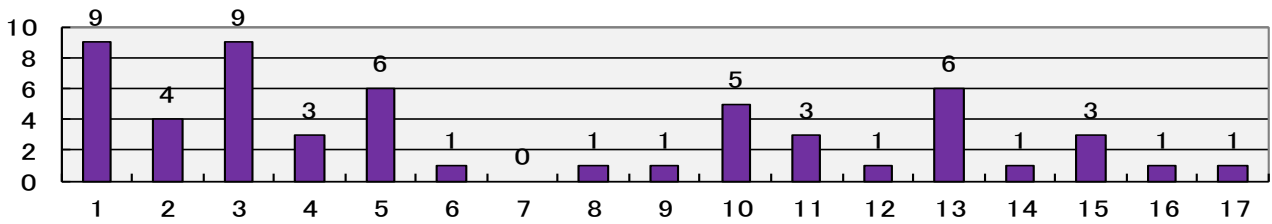
質問 2 今期直面している経営上の問題点

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 3 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 4 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他 |
| 9 店舗・生産設備過剰 | |

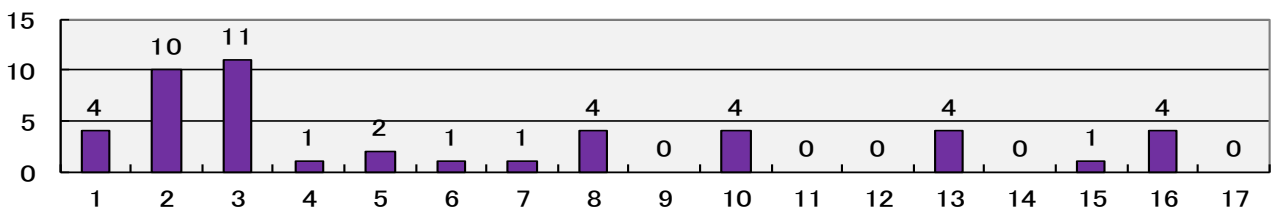
全業種(複数回答)



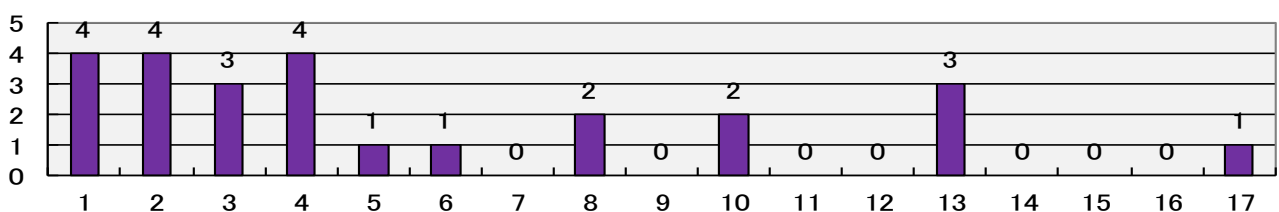
建設業(複数回答)



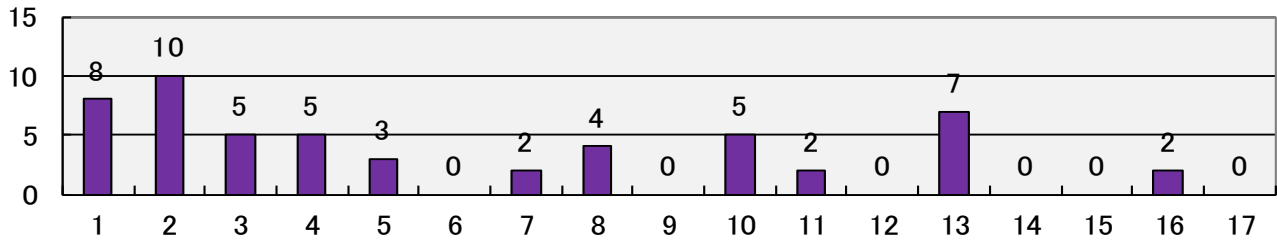
製造業(複数回答)



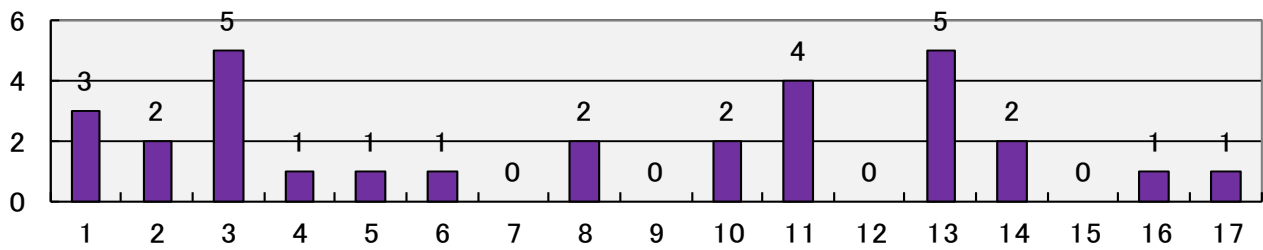
卸売業(複数回答)



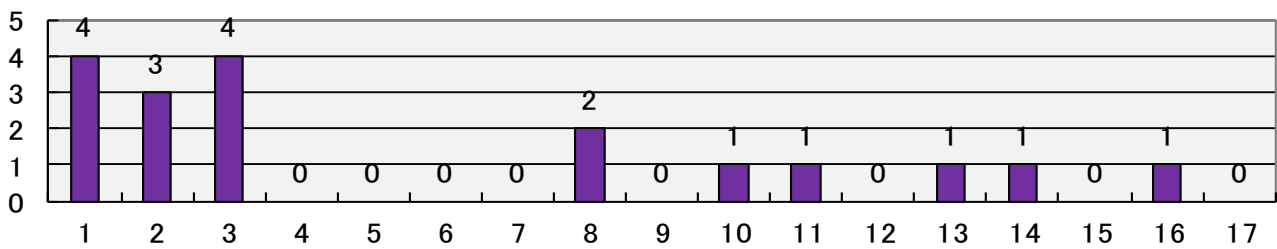
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(平成28年4~6月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191
FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(平成28年4~6月)の状況と、今期と比較した来期(平成28年7~9月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数 _____ 人(うち正規雇用者 _____ 人)			
	(前年同期比)	1. 過剰(増加)	2. 不変(適正)	3. 不足(減少)
	(来期の見通し)	1. 過剰(増加)	2. 不変(適正)	3. 不足(減少)
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】昨夏(平成27年夏)と比較して、貴社の正社員における今夏(平成28年夏)の一時金の動向について、該当する番号に○印をお付けください。

- 1: 増額する
- 2: 同水準で支給する
- 3: 減額する
- 4: 昨夏は支給しなかったが、今夏は支給する
- 5: 昨夏は支給したが、今夏は見送る
- 6: 昨夏に続き、今夏も見送る
- 7: 一時金を支給していない

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点、消費税増税延期についての意見等についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。